

平成 29 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 29 年 6 月 9 日に鳥類調査を実施した。天気は曇のち晴、気温 24.6～26.4℃、東～南の風、風速 1.2～2.3m であった。当日は大潮で、潮位は 10 時 57 分 干潮(24cm)、17 時 42 分 満潮(187cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	13:00-14:00	9:05-10:20	11:00-11:45
天候	晴	曇	晴
気温(℃)	26.4	24.9	24.6
風向	南	東	東
風速(m)	2.3	1.2	2.2
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。ヨシ原でオオヨシキリがさえずっていた。	引き潮で磯が広く干出していた。 海浜公園では、砂浜12人(潮干狩り、パドルサーフィン、散策)、船着場25人(散策)、磯5人(散策)の利用者が見られた。	干潟は広く干出していた。京浜島側の干潟で潮干狩り1人、釣り1人が見られた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	カワウ(610羽) 大型カモメ(23羽)	カワウ(887羽) コサギ(65羽)	カワウ(323羽) コアジサシ(310羽)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・沖の干潟でカワウ、カモメ類が休息。ミサゴがハンティングに失敗。 ・干潟の汀線付近でサギ類が採餌。スズガモ、カワウ、サギ類、カモメ類が休息。 ・干潟でカルガモ、シロチドリが休息。 ・重要種として、5種を確認(スズガモ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、ミサゴ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第六台場では、カワウ、サギ類が繁殖。大きく成長したヒナを確認。 ・鳥の島ではカワウが繁殖、大きく成長したヒナを確認。 ・海浜公園側ではカワウが採餌。 ・護岸や岩礁ではカワウ、カルガモ、アオサギ休息。 ・重要種として、3種を確認(ダイサギ、コサギ、コアジサシ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟や護岸ではサギ類、シギ・チドリ類が採餌。 ・干潟ではカルガモ、カワウ、サギ類、カモメ類が休息。 ・水上ではコアジサシが採餌。 ・重要種として、6種を確認(ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、イソシギ、コアジサシ)。

●出現種と個体数

No.	目名	科名	種名	5月					6月					重要種 選定基準			
				葛西人工渚			お台場 海浜公園	森ヶ崎の 鼻	葛西人工渚			お台場 海浜公園	森ヶ崎の 鼻	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL 2017 鳥類	東京都 RL 2010 (区)
				沖合	範囲内	合計			沖合	範囲内	合計						
1	カモ	カモ	カルガモ		7	7	11		9	9	10	2					
2			スズガモ						21	21						留	
3	カツオドリ	ウ	カワウ	60	318	378	605	46	5	605	610	887	323				
4	ペリカン	サギ	コイスギ				2										
5			アオサギ	2	3	5	49	7		10	10	20	6				
6			ダイサギ	13	7	20	3	1		18	18	8	7			VU	
7			コサギ	3	1	4	24	3		14	14	65	2			VU	
8	ツル	クイナ	バン		1	1										VU	
9	チドリ	チドリ	コチドリ		1	1	1	2					1			VU	
10			シロチドリ		1	1		3		3	3		4			VU	
11			メダイチドリ		4	4		4								NT	
12		ミヤコドリ	ミヤコドリ	30	10	40										EN	
13		シギ	チュウシャクシギ		4	4	3	11								VU	
14			ホウロクシギ		1	1										CR	
15			キアシシギ		1	1	15	1								VU	
16			イソシギ		1	1	1	2					1			VU	
17			キョウジョシギ				100	13								VU	
18			トウネン		11	11										NT	
19			ハマシギ	10	17	27		1								NT	
20		カモメ	ユリカモメ	63		63		8		1	1						
21			ウミネコ	13		13	1	1	15	2	17	1	4				
22			セグロカモメ	3		3	2										
23			オオセグロカモメ	1	1	2			2		2						
			大型カモメ ^A	1		1			20	3	23						
24			コアジサシ	5	10	15	14	295				1	310		国際	VU	
25			アジサシ	12		12							3				
26	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ					1					1				
27	タカ	ミサゴ	ミサゴ						1		1					NT	
計7目10科27種				12種 ^A	18種	22種 ^A	14種	17種	4種 ^A	10種	11種 ^A	7種	12種	0種	1種	5種	17種

※種の種類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会2012)に従った。

A:大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

文化財保護法:

種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2017年. 環境省第4次レッドリスト.

東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～ 2010年版.

<葛西人工渚>

○調査地点の状況

干潟が広く干出し、水たまりが多かった。



○干潟の利用状況

干潟の汀線付近ではサギ類が採餌、スズガモ、カワウ、サギ類、カモメ類が休息していた。

干潟ではカルガモ、シロチドリが休息していた。



<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

第六台場ではサギの集団繁殖が確認された。



○出現種(コサギ)

第六台場ではサギ類の繁殖が確認された。アオサギ、ダイサギ、コサギが確認され、特にコサギのヒナの姿が目立っていた。



○出現種(カワウ)

第六台場、鳥の島ではカワウの繁殖が確認された。親鳥、大小様々なヒナ、樹上や護岸、磯で休息する幼鳥が確認された。

鳥の島では80個の巣が確認され、その約50%が繁殖に使われていた。

○出現種(カルガモ)

第六台場、鳥の島の護岸や岩礁では、カルガモが休息していた。全国の水辺で1年中見られる。くちばしは黒く先端が黄色い。ほかのカモ類と異なり、雄と雌が同じ羽色をしている。



<森ヶ崎の鼻>

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



コアジサシ(餌運搬)

○出現種(コアジサシ)

水上で採餌、干潟で休息が確認された。森ヶ崎水再生センター屋上の人工営巣地では、6/10の時点で成鳥 650 羽、巣 602 個(推定)が NPO 法人によって確認されている (NPO 法人リトルターン・プロジェクト、<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20170610>)。

○出現種(アジサシ)

干潟でコアジサシと共に休息する、冬羽のアジサシが確認された。旅鳥として春や秋に見られる。コアジサシより一回り大きく、くちばしは黒色、夏羽は上頭部が黒色、背と翼上面は灰色、下面は白色である。冬羽は額が白色になる。



○干潟の利用上場

干潟ではカワウ、アオサギのほか、カルガモ、ダイサギ、ウミネコが休息していた。

<その他>

○ウミネコの繁殖

平成 27 年度 6 月の調査で運河の構造物上でウミネコのヒナが確認され、繁殖が確認された。今季も繁殖している可能性が考えられたため、構造物の利用状況を確認したところ、複数の構造物上にウミネコ成鳥が合計 40 羽、ヒナは少なくとも 9 羽確認された。構造物の上部はH型の鋼材を組み合わせて作られており、小さいヒナが座り込むと垂直の鋼板の陰に隠れてしまうため、見えない場所にもヒナが存在すると考えられる。

